

そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第131号

平成30年正月号
臨濟宗 宗禅寺
建長寺派
住職 高井和正
閑栖和尚 高井正俊
羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

開運招福

2月3日(土)

雨天決行

節分豆まき法要

●十四時 赤鬼青鬼練り歩き

(町内に節分のご案内をします)

●十六時 御詠歌奉詠・祈願大法要

かつぼれ奉納 かつぼれさくら会

●十六時半 厄を払い福を呼ぶ「豆まき」

○子供達は全員豆をまけます。

○年男年女・福男福女の皆様。

○富くじもまきます。

●十七時 年とりの宴

○全員に福豆進呈

○年男年女・福男福女募集中

○鬼さんからプレゼント ○暖かい建長汁無料提供

- 祈願申し込み。
普通祈願2千円。家内安全・無病息災など、祈願項目をお申し込み下さい。
特別祈願1万円。特別祈願のお方は年取りの宴に御参加いただけます。
- 『戌』年、厄除けの方。
年男・年女・福男・福女募集中。
祿をつけて豆まきをします。
- 皆様からの福(節分景品)有り難くお受け致します。お寺にお持ち下さい。

宗禅寺観音募金

(平成29年9月8日～平成29年12月4日)

皆様からの募金、お賽銭をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

前回繰越 34,915円

収入 52,798円

支出 60,000円

20,000円 羽村市社会福祉協議会様
20,000円 あしなが東日本大震災
20,000円 遺児支援募金様
20,000円 建長寺観音募金様

繰越 27,713円

春の行事案内

- ◎節分豆まき 2月3日(土) 16時～17時
- ◎東日本大震災追悼法要・写経会 3月11日(日) 13時～15時半
- ◎春の文化展 第20回記念展 3月18日(日)～3月21日(水・祝) 10時～16時
- ◎江尻南美さん ピアノコンサート 羽村清流出身 ドイツ在住
大人：500円 小中高生：無料
3月27日(火) 13時～15時
- ◎花まつり甘茶法要 4月8日(日) 13時
生田流鳳友会・箏演奏会ライブ
4月8日(日) 13時半～15時
花まつり花展 4月6日～8日 出展受付中

薬師如来大祭

昨年十月第一土曜日に薬師如来大祭を開催致しました。宗禅寺は四〇〇年前に創建されましたが、境内にある薬師堂はお寺の創建よりも以前から地元地域に創建されており、後世に伝えていく重要なお堂になります。昨年から続く創建四〇〇年記念として、皆様方の御協力により本堂南ノ間が増築され、当日は奉納舞台として使用させていただきました。

新しい舞台での演目は、地元の皆様の日



薬師講の皆様による屋台。美味しいです。

本舞踊に大正琴、子供達の日本舞踊にフラメンコに加え、大道芸人のバルーンショーと伊豆半島河津町から千葉兼和尚と長谷隆行さんがお越し下さり、縦笛とギターの協奏を披露して下さいました。締めくくりは、伊庭末雄さんによる民謡と炭坑節による盆踊りです。

お祭りは毎年開催しています。是非一度足をお運びいただき、お薬師様に手を合わせてお帰り下さい。開催の御尽力をいただきました薬師講中、サンガの会の皆様ありがとうございました。



今年は早い時間から境内が一杯になりました。



伊豆・河津町より 縦笛とギターの演奏

創建四〇〇年記念俳句大会

星野椿先生を囲んで

十一月十日に俳句大会を開催致しました。選者としてお越しいただいたのは、高浜虚子さんのお孫さんにあたる鎌倉在住の星野椿先生です。私住職も初めての作品を投句させて頂きました。おまけに五客入選の栄も受けました。

参加者は五十名を数え、会場となった客殿が活気に溢れました。当日の昼食は、うどん教室の皆様が手打ちうどんをお支度をしてくださり、皆様美味しくいただき、実り多き一日となりました。準備をして下さ



俳句会互選中

いました宗禅寺俳句会の皆様、うどんをお支度いただいたうどん教室の皆様、ありがとうございました。入賞致しました作品を掲載させていただきます。

三光

(敬称略)

垣根より 鋏の音や 路地小春
野島 順子

鋏の柄の 修理を頼み 冬に入る
濱中 和敏

竹箒 桜紅葉の 彩残す
友野 貞次

五客

(敬称略)

井戸水の 冬はぬくしと 菜を洗う
中野 良一

お写経の 歳月重ね 石踏の花
中里 美恵

银杏散る まったただ中の 句会かな
小池 宗彦

小春日に 植木整う 鋏音
大島 雅子

鐘響き いのち目覚める 冬の朝
高井 和正



星野椿先生（一列目中央）榎本琴子さん（一列目右端）と宗禅寺俳句会の皆様

創建四〇〇年記念

「お寺でライブ」開催

十一月十九日(日) 午後には和楽器によるコンサートを行いました。事前申し込み数約一二〇名のところ、当日倍近くの皆様にお越しいただき、一三〇名の皆様にお楽しみいただきました。

ステージはもちろん、新しく増築した南ノ間を使用致しました。当日は朝から音響さんが御準備を下さり、午前中にはリハールの音出しができました。

本番は、第一部はそれぞれの楽器のソロで構成され、第二部にて合奏して下さいました。和太鼓の圧倒的な音とリズムをベースに津軽三味線と尺八の音色が気持よく遊び、心地よい唄声が続み合い、見事なステージとなりました。ご来場いただいた皆様、誠にありがとうございました。



左から尺八・岩田卓也さん 三味線・田中志穂さん
三味線(リーダー)栗原武啓さん 唄・涌井晴美さん
和太鼓・大多和正樹さん

お寺から皆様へ



般若札のこと

一年に四回(年始・春彼岸・お盆・秋彼岸)、お寺から檀家さんの皆様に「そうぜんじ便り」を郵送させていただきます。その中で、毎年のお正月のお便りには般若札というお札を同封しています。般若札には大般若祈禱法要の祈りの力、般若(仏の智慧)の力が込められています。ご仏壇にお供えして下さっている皆様もいらっしゃるかもしれません。正式には外側を向くようにご自宅の玄関に貼っていただくものです。お家の入口から、悪い「魔」が入らないようにするためのお札です。お正月に般若札をお配りし、新しく始まった一年の無事をお祈りしています。お出かけの際に、玄関で般若札を見て、魔が差さないように努め

ていただくためのお札です。

※古いお札はお寺にご持参いただければお焚き上げを致します。また、除夜の鐘の際の焚火にくべていただいても大丈夫です。

護持会境内清掃

年四回、護持会の皆様が境内の清掃をしてくれています。最近、会員の方々が減ってきましたので、薬師講の皆様にもお手伝いをいただいています。お墓に上がっている枯れたお花なども、その折に回収させていただきます。

年末清掃の際には、お墓にあがっている古い卒塔婆も、こちらの判断で回収をしています。大晦日の除夜の鐘の際に、お焚き上げをさせていただきます。ご承知の程、お願い致します。

※墓参の折、古い卒塔婆にお困りの皆様は、墓地入口竹林下の、焼却炉脇の棚に置いて下さい。大晦日にお焚き上げを致します。

寺子屋委員会

秋の寺社巡りの旅

本年も秋の寺社巡りの旅を開催、五〇名もの皆様の御参加をいただきました。普段は入ることができない場所まで拝観させていただける場合が多く、毎回貴重な旅になります。

拝観させていただいたお寺は左記の通りになります。

■調布市 天台宗 西光寺様

調布市内唯一の仁王門や所縁のある近藤勇像などがあるお寺さんです。調布の深大寺の筆頭末寺で御縁日(十八日)しか御開帳されていない

観音堂の千手観音様を拝ませていただきました。観音堂内の天井をぐるりと囲むように、観音菩薩三十三化身像(1698年製作)が祀られています。観音



西光寺仁王門



西光寺観音堂

様の三十三化身像がすべて現存しているのは大変珍しく貴重な機会をいただきました。また、副住職様御夫妻が丁寧にご案内をして下さり、一同感激しました。

■狛江市 曹洞宗 泉龍寺様

同じ禅宗寺院になります。狛江駅から歩いてすぐの場所に有り、閑栖和尚様がお迎えしてくださりました。宗禅寺にも禅センターがありますが、泉龍寺様には、もつとすごい仏教文庫がございます。什物の展示も文庫で行っており、蔵書の多さに一同ビックリ致しました。一般の方の利用も可能です。

お寺の謂われも古く、奈良東大寺開山良弁(ろうべん)僧正が765年に同地で雨乞いの儀式をしたことがお寺の創建につながったとの伝承があります。

■調布市 天台宗 深大寺様

開創733年、天台宗の密教寺院です。お蕎麦や植物園、だるま市で御存じの方も多いと思います。当日は特別なお取次をいただき、本堂でのお話しと、元三大師堂での護摩祈祷修行をさせていただきました。その後は、釈迦堂に安置してある国宝『白鳳仏』を中心に境内を案内していただきました。深大寺の深大は深沙大王の略です。

当日は雨に降られてしまいましたが、訪れたお寺の和尚様や皆様が温かくお出迎えして下さい、大変実りの大きな旅行となりました。また、度々宗禅寺の坐禅会にお越しいただいている深大寺にお勤めしている尼僧さん、緑川明世師に大変お世話になりました。この場を借りまして、深く感謝を申し上げます。



深大寺 国宝となった白鳳仏

文庫長だより

島田 秀男

前回発行の「そうぜんじ便り」第一三〇号で、「玉川見立八景」のことにふれ、次の句を紹介しました。

川崎や夜雨よあめの中を鳴水なみづ札

この句にある「水札」は、多摩川中流域に生息するコチドリかイカルチドリのどちらかですといい、断定することはできませんでしたが、どうもイカルチドリをさしているようです。

江戸時代軽輩の身から勘定奉行にまで出世した川路聖謨（としあきら）が書いた『玉川日記』に、川千鳥のことがでてくるのです。

聖謨は、享和元年（一八〇一）に豊後国日田（大分県日田市）に生まれ、文化五年（一八〇八）、父とともに江戸に移住してきました。一八歳のときに出仕し小普請組となり、その後は卓越した才能が認められ佐渡奉行、小普請奉行、天保一四年（一八四三）普請奉行になりました。

歴史小説『落日の宴』で川路聖謨を描いた藤沢周平は、聖謨を頭脳、判断力、人格ともに卓越した人物であるといっています。

その聖謨が普請奉行のときに、玉川上水の巡見し、『玉川日記』という紀行文を残しています。一週間程度の紀行文です。

弘化二年（一八四五）二月一日、邸

を出発し、四谷大木戸に訪れてのち上水沿いを歩きながら分水を検分。途中で一泊し、翌日の一九日に羽村の陣屋に到着しています。陣屋は、玄關や違い棚のある床の間の一二畳の座敷、湯殿などあり、「都合よろしく不自由なることなし」と述べています。

二〇日は羽村堰やその周辺を視察しています。多摩川の流れが、川向かいの丸山に一端突き当たり、流勢が弱まりそのまま堰口に流れていることをつぶさに観察しています。

聖謨は、多摩川の水を羽村から取り入れ、玉川上水が完成したのは羽村堰の位置にあったことをするどく見抜いていたのです。

この日の夜、ひとりて書を読んでいた聖謨は、月も明るくあたりいちめんを銀色に埋め尽くし、多摩川の流れの音がいちだんとさえて聞こえるなかに、鳥の声を聞く。そのくだりの紀行文を意識するとつぎのようになります。

鳥の声か、ひばりの声にも似ているが、ひばりではない。めつたにない、おもしろい鳥の声が聞こえた。家来にたずねようと思ったがすでに寝静まっていたので翌日羽村の人に聞いてみた。地元の人

は、川千鳥だという。この川千鳥は、夜遅く月のでた日に鳴くという。だから私たちもその鳥のすかたを見ていないという。

この体験は今回の旅で一番のめづらしいことなので、家にかえったら家族にも川千鳥の話しよう。

聖謨の家来に対する深い思いやりや旅の疲れも感じさせない知識欲を読み取ることができま

さて、ここに登場する川千鳥のことですが、鳥類の研究者によると「多摩川中流域のチドリには、コチドリとイカルチドリの二種類が見かけられるが、川路の訪れた二月ならば、渡り鳥のコチドリではなくて、留鳥のイカルチドリであろう。（中略）イカルチドリは、通常、「ピオ、ピオ」と鳴くが、繁殖期になると、「ピッ、ピッ、ピッ」と微妙にかわる。」

（桜沢一昭『川千鳥の話』）といえます。聖謨が聞いた鳥の声は、イカルチドリであった可能性が高いのです。

「玉川見立八景」の「川崎の夜雨」で詠んだ句の「水札」もイカルチドリと考

えられます。

参考図書

桜沢一昭『川千鳥の話』
平成元年三月一五日 西多摩新聞
保坂芳春『川路聖謨と「玉川日記」』
羽村市郷土博物館紀要第九号

寺子屋委員会

委員会では『宗禅寺の歩み』を発行したあと、引き続き川崎村の歴史を学んでいます。興味・関心のある方など、気軽に一緒に勉強していきませんか。現在、会員を募集しています。お声をかけて下さい。

平成三十年に想う

第二十世住職高井正俊和尚の40年間の振り返りと新しいスタート

昨年の平成29年は宗禅寺にとって歴史に残る記念すべき年になりました。檀信徒の皆様始め、地域の皆様に厚く御礼を申し上げると共に、私正俊和尚の40年間の振り返りと、宗禅寺の新たなスタートについて書かせていただきます。

第十九世住職、高井俊諦和尚が昭和21年3月に宗禅寺に入山。私はその年の2月に産まれ、4月にこの川崎村に連れられてきました。父、俊諦和尚は檀家さんとの共同作業で宗禅寺の基礎を永きにわたって作り上げてくれました。私もその上の上ののって昨年までほぼ40年間、寺と和尚の在り方、地域との関わり方を試行錯誤しながら、たくさんの方の協力を得ながら、作り上げてきました。私の宗禅寺の住職時代、建長寺での公職時代の歩みは、『建長寺―そのすべて―』、『宗禅寺の歩み』の通りですが、あらためてまとめてみたいと思います。

宗禅寺は川崎村の一村一ヶ寺の寺として成り立っています。村の方々のお寺に寄せられる思いは、実に強烈なものがあります。何しろ、先祖をまつる墓は、ほぼすべて寺にあるわけですから。

昭和28年に薬師堂が川崎会館の地から、

寺に移転するにあたっては、村の方々総出の人力作戦で、整地から移転、さらには薬師如来像の開眼までがなされました。みんなで作る寺の伝統が、村人が中心となり、この寺からいろんなものが発信されていくのだという自信が、村の人々の心の中につちかわれることになったのです。

羽村の寺院で作る羽村臨済会の活動は、羽村灯籠流しを昭和58年復活、実行委員会は羽村全体の地区で支える強固な組織として実働しています。

宗禅寺では薬師如来大祭が昭和60年から薬師講中によつて運営されるようになりました。昭和58年の「そうぜんじ便り」の発行で、寺のことが檀信徒の皆様には伝わり、そして写経の会（昭和61年）、朝粥坐禅会（昭和61年）、詠歌講（昭和63年）、土曜坐禅会（平成3年）、護持会（平成7年）、寺子屋教室（平成8年）、俳句教室（平成11年）、春の文化展（平成11年）、寺子屋委員会（平成13年）、尺八吹禅の会（平成21年）、女性サンガの会（平成23年）、木彫教室（平成25年）、禅センターの完成（平成28年）、花まつりライブ（平成28年）、うどん教室（平成29年）へと、活発な活動が次々

と展開されることになりました。

これらの活動は、皆様方からいただいた財施をお寺として、どう法施としてお返しをしていったらよいか、ということへの答えとご理解していただければと思います。私は「寺は文化の発信地」というスローガンを作り、具体的な形にさせていただいたということになります。

もちろん、お寺のなすべきことは、葬儀・法要であり、そのことも丁寧に行っています。宗禅寺教典の発行もそれを裏付けるものです。おかげさまで宗禅寺の活動の原形はほぼ出来上がってきました。

そして、宗禅寺が平成28年に創建400年を迎えることは以前から解っており、その準備も少しずつしてまいりました。ありがたいことは、平成23年に第21世住職となる和正和尚をお迎えすることもでき、いよいよ400年を迎える体制が整いました。そして平成27年に建長寺の宗務総長を退任したことによつて、一挙に創建400年へと集中することになりました。

記念事業の柱は三つ。和正和尚の晋山式、本堂南ノ間の増築、『宗禅寺の歩み』の発刊。私が70歳を越え住職を若い人に譲り、これからの宗禅寺を荷っていただくこと。本堂の増築は宗禅寺の秋の最大重要行事である薬師如来大祭や節分のために舞台として使えるようにすること。併せて、本堂を拡げて、諸儀式に対応させること。境内のお地藏様の移設から始まった増築はほぼ完

成致しました。本の発刊は今迄の宗禅寺の活動・歩みを、手にとつて解るようにしました。皆様方の暖かい協力のもと、それらの事業をすべて完成することができました。更に文化的な面でも、形がほぼ出来上がりました。中でも特筆すべきことは、文化活動の仕上げとして創建400年の記念として始まった「宗禅寺土曜講座」があります。毎月1回、地域の人や著名人のお話を聞き、地域文化の探求を進めています。みんな檀信徒に限らず、地域総ぐるみで人も地域の力も高めていこうとするものです。お寺がその一つの役割を荷おうということです。

こうした宗禅寺の活動を企画、実行していくのは、お寺の者だけではとても不可能です。それをたくさんの組織の方々が共に手伝い、実行してくれています。本当に有り難く、いいお寺になりました。

宗禅寺にはお墓参りの方が年間ほぼ1万人来られ、催しに参加して下さる方が6千人おられます。毎年1万6千人もの方々が、お寺の門をくぐってくれているということになります。この方々の期待に応えるよう、さらに多くの方々がお寺に来て下さるよう、これからも活動を続けていきます。お寺は川崎の村や檀家さんだけにとらわれない、羽村や福生、地域みんなのものです。皆さんと共に、お寺ライフ・人生ライフ作りを楽しんでいきましょう。お出かけ下さい。

和正和尚日單

○深大寺他 午前中、秋の寺社巡りの旅下見へ。午後、瑠璃花と花音と瑞穂の公園に遊びに行く。 9/19

○消防 日ノ出町での西多摩ポンプ操法審査会へ。羽村五分団借しくも入賞できず。 9/23

○落慶 本堂南ノ間の落慶供養と祝宴。総代さんと職人さん皆様で。 9/24

○朝粥 福生・羽村倫理法人会のモーニングセミナー御一行様御来山。朝粥坐禅研修。 9/27

○寺子屋委員会 羽村の俳諧。曾祖父と写真で初めてお目にかかる。 9/27

○建長寺 禅文化委員会総会。十月の四ツ頭茶会の道具出しと習礼。 9/29

○宗禅寺 晩に灯籠流し実行委員会。会議と打ち上げ。申し訳ありませんが、欠席致しました。 9/29

○建長寺土曜法話 本山三門下にて法話。仏の四智の一つ平等性智。 9/30

○部内会 晩に青梅にて建長寺派東京三部部内会。宗禅寺は東京教区第三部に割り当てられています。本山からの通達事項

など。

10/1

○達磨忌 十月五日は禅宗の初祖、達磨大師を偲ぶ日です。選挙のダルマさんのモデルです。淑子お母さんが御詠歌講の皆さんと建長寺での御詠歌奉詠大会へ。帰りに八王子でお蕎麦 10/5

○薬師大祭 毎年恒例の薬師如来大祭。 10/7

○三島龍澤寺 龍澤寺開山白隠禅師二五〇年遠諱へ。報恩大接心と二五〇回忌法要のお手伝い。和尚一五〇名、在家信者さん二〇〇名。 10/8、11

○五日市廣徳寺 廣徳寺開山心源希徹禅師毎歳忌法要へ。廣徳寺末寺の和尚さん集まる。 10/13

○昭島 昭島で焼鳥 10/15

○鎌倉回春院 叔父が住職を務める、建長寺境内の回春院の開山忌へ。お茶出しと読経と昼食のお給仕。 10/18

○秋の寺社巡りの旅 今年は調布方面へ。参加者五十名。 10/19

○法要 鎌倉でご縁のあった水田俊之さんの一周忌と立川良勝さんの三回忌を宗禅寺で。鎌倉から大型バス一台で。 10/22

○四ツ頭茶会 建長寺四ツ頭茶会荷担。禅宗のお茶の作法。 10/23、24

- 寺子屋委員会 続・羽村の俳諧。中野喜一さんのお話し。 10/25
- 土曜講座 宗教スペシャル。ご近所の永昌院桑林師と鎌倉雪ノ下教会の山口道孝神父様。私はチベット 10/28
- 薬師講役員会 大祭の反省と会計報告。忘年会のことも。 10/28
- 青梅 鎌倉てらこやの学生スタッフの皆様が青梅に来訪。玉泉寺拝観。白浪さんの襖絵を鑑賞。宴会。 10/29
- 西東京臨済会 幹事会を福生清岩院様で。十一月の托鉢の案内状発送。 10/30
- 越生 母と妻と娘で、淑子お母さんの故郷の墓参へ。 10/30
- 松原医院 娘の予防接種へ妻と。私もインフルエンザ注射 10/31
- 幼稚園 富士学院幼稚園にて親子面接。十月から週一回通い始めています。お世話になります。 11/1
- 消防 出初式の練習 11/2
- 建長寺法話大会 今回は白隠禅師坐禅和讃がメインテーマ。「耳で見分けて、目で聞く」を話す。 11/4
- 京都 青梅東禅寺様の役員研修会に同行。実家の本山、興聖寺参拝。他に南禅・相国・金銀など。 11/6、8

- 宗禅寺 俳句会準備と創建ライブの音響さん会場下見。 11/9
- 創建400年記念俳句大会 星野椿先生を鎌倉へお迎えに行く。 11/10
- 横浜 大船・常楽寺の雪文良和尚結婚披露宴へ。 11/11
- 住職研修会 建長寺にて。 11/13
- 富士サファリ 淑子お母さんも一緒に五人で富士サファリへ。 11/15
- 創建400年記念ライブ 二百五十名の御来山をいただきました。ありがとうございました。 11/19
- 土曜講座 駒澤大学渡邊恵一先生の「青梅線の歴史」と中野利久さんの「遺言や財産相続」のお話し。私は引き続きチベット仏教 11/25
- 薬師講忘年会 香蘭飯店で。四十一名。 11/26
- 西東京臨済会 歳末助け合い托鉢。五日市・日野・昭島(後日)・福生にて一斉托鉢。私は日野へ。集まったご喜捨は各自治体の社協様へ。 11/28
- 布教師会 本場で会議と研修。「お寺葬のススメ」を実践している稲城市普門庵ご住職のお話し。 11/29
- 青梅 羽村臨済会忘年会 12/3

- 青梅天寧寺 多摩川仏教会の成道会(じようどうえ)。十二月八日はお釈迦様がお悟りを開いた日です。御詠歌講の皆様が御詠歌奉詠大会に参加。御詠歌講忘年会。 12/8
- 土曜講座 横田基地のこと。 12/9
- 寺子屋委員会 毎月の勉強会。一雨乞いと羽村の俳諧―― 12/12
- 西東京臨済会 青梅宗建寺様で幹事会。来年の研修会の協議と新年総会の案内状発送。終って忘年会。 12/13
- 宗禅寺の歩み 編集・出版の打ち上げ。執筆者の皆様と。 12/14
- 消防 出初式の訓練。 12/14
- 消防役員会 出初め式について 12/22
- 年末清掃と冬夜 護持会の年末清掃。お昼は手打ちうどん。晩に坐禅会、写経会の皆様との忘年会 12/23
- 大晦日 除夜の鐘。 12/31

今年もどいりごきんぱくお願いします。

宗禅寺総代会

総代長 大野 哲夫
 副総代長 中野 祐司
 総代 新井 政昭・大野 元雄
 中村 修・新井 敏行
 中村 勝司

閑栖正俊和尚の足どり

- 鎌倉 建長寺でZEN2・0の開催。マインドフルネスと禅で、多彩なゲストの講演。両日で470人の参加。若い人達
が建長寺に結集、嬉しい。 9/2・3
- 宗禅寺 朝粥坐禅会。二十二名 9/3
- 河口湖 圓通寺先住五十回忌 9/3・4
- 東中野ポレポレ座で「禅と骨」 9/5
- 市原市五井・森嚴寺和尚様ご夫妻、川名さん・塚原さん来山。 9/6
- 建長寺 鎌倉禅研究会。野口善敬師（古先印元）、高橋秀栄先生。五十人。 9/7
- 宗禅寺 鈴木土建田中さん排水の枘設置、大仕事完了。お疲れさまでした 9/8
- 湯島麟祥院 「臨済録を読む会」 9/11
- 宗禅寺本堂南ノ間、完成へ。カーテン、障子入る。素晴らしい空間。 9/13
- 銀座・三ツ井記念美術館から東慶寺「鎌倉禅」で横田南嶺老師の仏光録 9/15
- 本堂・唐破風、小池さん、鬼を入れる 9/15
- 本堂改修工事、足場撤去。四〇〇年ぶりにお寺の顔が新たに出現。うどん教室、

- 護持会清掃。一時土曜講座。聴衆三十人。もつと来て欲しい。もつたない。残った人で「便り」発送作業。 9/16
- 両国 相撲見物その後南麻布へ 9/19
- 本日より一週間彼岸早朝坐禅会 9/20
- 宗禅寺本堂南ノ間完成祝い。総代さん、業者さん二十四人で。南ノ間使用 9/24
- 中国四川省よりお坊さん他来山。鎌倉常楽寺、国宝館、甲府東光寺案内 9/26
- 宗禅寺 羽村福生倫理法人会の朝粥坐禅会。二十人。寺子屋教室 9/27
- 宗禅寺 朝粥坐禅会十八人。写経会二十三人。 10/1
- 俳句大会招待状 二〇八通 10/5
- 宗禅寺薬師如来大祭 新築の南ノ間で薬師講中の方でテキパキと進行。とりは伊庭末雄さんの生の炭坑節で盆踊り。南ノ間舞台の力量発揮。 10/7
- 鎌倉 てらこやアワード。大仏さんと建長寺で。全国から十九チーム。 10/8
- 宗禅寺写経会、鎌倉浄智寺で鎌倉塾（豊島屋久保田社長）、北山安夫師。 10/11
- 鎌倉禅研究会 円覚寺さんで。夜、帰山。庭一面に銀杏あふれている。 10/12

- 東慶寺さんで鎌倉会（無学祖元の仏光録を横田管長が講義） 10/13
- 新橋東京美術倶楽部で、鎌倉の三橋・奥西・磯部さんの作品鑑賞。次に、永楽クラブで神道・仏教稲門会。 10/14
- 三島で館隆志・正親里沙さんの結婚披露宴出席。皆さんと旧交を暖む 10/15
- 湯島麟祥院さんで臨済録（小川師） 10/16
- 奈良・東大寺へ松ヶ岡文庫の仕事で、出張。夕、東久留米で五十嵐光枝さんの通夜に出席。 10/17
- 東博で運慶展。のんびり鑑賞 10/18
- 宗禅寺社巡りの旅。西光寺・泉龍寺・深大寺では緑川明世さんの案内を得る。雨であつたが、皆大満足。マイクロバス一台 10/19
- 彭丹さんと宝塚の歌劇を見る 10/21
- 蓼科の山荘に招待。秋を楽しむ。 10/23・24
- 横須賀市民大学で「禅と食」準備 10/25
- 東京宝町サカキで。今迄お世話になった、東博、日経の方々を招待。 10/26
- 京都・建仁寺で湊素堂忌。六時福生幸楽園でJ.C次年度理事長激励会 10/27
- 宗禅寺土曜講座 チベット仏教・真言宗のこと・キリスト者の生き方。後、山口

- 神父とイスラエル旅行仲間で一献。土曜坐禅会、薬師講役員会も。 10/28
- 建長寺 フラメンコカンテ、遠藤あや子コンサート。龍王殿二八〇人 10/29
- 横須賀市民大学で「禅宗から生まれた食の文化」講話。「和らく」で懇親会 10/31
- 宗禅寺写経の会 お茶の時、名簿で皆さんを紹介。皆さんぐつと身近に 11/1
- 禅文化フェア 鶴見大学で。柘野俊明さんと対談。後、坐月一葉で食事 11/3
- 淑子さん 詠歌講の巡拝の旅へ。11/7〜9
- 建長寺 鎌倉禅研究会（高橋秀栄、芳澤元先生）後、尾崎で小宴十二人 11/9
- 宗禅寺創建四〇〇年記念俳句大会。選者、星野椿先生。五〇人の参加。昼食はうどん教室の方々の手作り肉うどん。好天に恵まれ大盛況。鎌倉から榎本琴子さんも同道。 11/10
- 横浜ニューグランドホテルで、常楽寺雪文良さんの結婚式。 11/11
- 千葉 市原市曹洞宗森厳寺、修復落慶式、蘭溪道隆禅師遺愛の千手観音の御開帳導師を務める。松平宗紀夫妻。高校の旧友青木三郎さんに会う。 11/12
- 鎌倉 長寿寺で望月敬生さん納棺。建長寺

- で四派住職研修会。臨濟録（酒井泰玄老師）、松原師米国の禪。六時望月さん通夜。 11/13
- 長寿寺で望月さん葬儀。吉田正道管長導師、火葬から初七日。能仁寺奥さん、谷中了院寺松岡広泰師と共に。 11/14
- 海老名で旧友と会い、旧交を暖む。 11/16
- 鎌倉禅研究会の来年の日程等決定。 11/18
- 宗禅寺・創建四百年南ノ間完成ライブ、栗原武慶大多和正樹・田中志穂・岩田卓也・浦井晴美。二百三十人の入場。鎌倉より儀平さん三姉妹、酒井さんも。打ち上げはエルムンド。 11/19
- 羽村中の旧友を京都案内、河道屋養老から聚光院、鷹峰ハーヴェストクラブに泊まり、翌日は建仁寺から高台寺へ。夕刻東京アツラヌート会食 11/20・21
- 宗禅寺土曜講座四月まで決定安心。 11/24
- 宗禅寺土曜講座、弁護士の提言（遺言・後見人）中野利久さん。青梅線の歴史、渡辺恵一先生。共に聴き応え大。 11/25
- 建長寺岩手芸能黒森神楽、覚園寺・林美里マリンバコンサート、松ヶ岡文庫・芳沢勝弘先生、羽村に帰って薬師講忘年会・疲れて挨拶だけして寺に帰る。 11/26
- 湯島・麟祥院、小川先生臨濟録、横田南嶺

- 老師より全員に「こころこころ」の本贈呈。万成園でふりかえり会。 11/27
- 横浜、三溪園を訪ねる。久しぶりに建長寺の心平寺地藏堂、東慶寺仏殿拝見、鎌倉の昔がこんな近くに存在 11/28
- 建長寺にて布教師研修会、葬儀のこと、SDGSのこと、元気で嬉しい。 11/29
- 横浜ベイシエラトンで妙本寺鈴木日敬上人の晋山式披露宴。様々な方に会う。 11/30
- 建長寺鎌倉禅研究会、彭丹先生の開山語録、田中密敬さんの極楽寺。 12/8
- 宗禅寺土曜講座。和正住職の仏教講座、川嶋憲治さんの横田基地、閑栖和尚の話。夕方からPTA旧友会 12/9
- 東京。安崎さんのお別れ会から、湯島麟祥院臨濟録（小川先生）勉強会へ。 12/11
- 宗禅寺寺子屋教室 12/12
- 『宗禅寺の歩み』編集委員会打ち上げ 12/14
- 鎌倉東慶寺。鎌禅会（横田老師） 12/15
- 建長寺。小泉淳作先生七回忌。 12/16
- 宗禅寺冬夜忘年会。 12/23
- 除夜の鐘。今年の活動終了。 12/31
- 昨年は特に沢山、お世話になりました。**
- 本年もどうぞよろしくお願ひします。**

土曜講座のお知らせ

檀信徒以外の皆様の御参加も大歓迎致します。お茶代として三〇〇円。学生さんは無料です。

◆第十七回 一月二十七日(土)十三時～十六時
仏教講座「マンダラを味わう」

住職 高井和正
神社のこと — 神明神社を柱に —
神明神社総代 島田辰夫さん

羽村の文化について
前羽村文化協会会長 渡部清孝さん

◆第十八回 二月十七日(土)十三時～十六時
仏教講座「訳経僧と呼ばれる人々」

住職 高井和正
私のしてきたこと — 薬の基礎知識 —
薬剤師 平井幹廣さん

宗禅寺の仏像
多摩美術大学美術館学芸員 淵田 雄先生

◆第十九回 三月十日(土)十三時～十六時
仏教講座「中国への伝来」

住職 高井和正
私のしていること
宗禅寺副総代長 中野祐司さん

西多摩の自治
前瑞穂町町長 石塚幸右衛門先生

◆第二十回 四月二十九日(日)十三時～十六時
【中里介山忌】会場：禅林寺様

法要・墓参・お話
禅林寺住職 岡崎啓純和尚

仏教講座
住職 高井和正

平成三十年 鎌倉禅研究会

・中里介山を学ぶ

宗禅寺文庫長 島田秀男先生

高井正俊和尚主宰の鎌倉での聴講会で
す。資料代五百円と会場寺院の拝観
料をご負担をいただきます。予約不要
です。一時から四時半まで。

◆第百三十七回 一月十八日(木) 於円覚寺

【釋宗演管長・没後一〇〇年にあたって】

・第一講 円覚寺派管長 横田南嶺老師

・第二講 駒澤大学教授 小川 隆先生

◆第百三十八回 二月二十二日(木) 於建長寺

・建長寺開山蘭溪和尚語録の現代語訳

法政大学講師・建長寺研究員 彭 丹先生

鎌倉と日蓮教団

日本女子大学教授 古川元也先生

◆第百三十九回 三月十五日(木) 於建長寺

・禅門詩文集の蘭溪回書 元金沢文庫長 高橋秀栄先生

・元庵普寧の来日と日中禅僧の交流 花園大学講師 館 隆志先生

◆第百四十回 四月二十六日(木) 於建長寺

・題未定 長谷寺観音ミュージアム学芸員 三浦浩樹先生

・達磨大師の二入四行説 駒澤大学名誉教授 石井修道先生

・題未定

・題未定

・題未定

・題未定

・題未定

・題未定

・題未定

・題未定

宗禅寺毎月の活動

— お寺で新たな自分の発見を —

- 朝粥坐禅会……毎月第一日曜日 朝6時～8時半 一日の始まりに坐禅。坐禅後、禅の作法でおかゆをいただきます ※新年は1/8 (月・祝)に行います。2/4 3/4 4/1
- 土曜坐禅会……毎週土曜日 子供：夕6時～7時 大人：7時半～9時半 背筋を伸ばして坐ってみましょう イス坐禅もあります ※新年は1月13日より。
- 土曜講座……毎月一回の勉強会。13時～16時 地域文化の共有と創造を目指し、地域伝統を後世に。1/27 2/17 3/10 4/29
- 写経会……毎月1日、11日、21日、1時～3時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。※新年は1月11日より。
- 御詠歌……毎月第1・第3火曜日 1時半～3時 御詠歌いいですよ。
- 木彫教室……毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで
講師：新井達矢先生 場所：宗禅寺禅センター 仏像や能面を自分で彫ってみませんか？ 月謝5000円 (道具、材料費は別途)
- 俳句教室……毎月1回、適宜。問い合わせ先：中野つたえ ☎554-2444
- 尺八吹禅の会……毎月第1・第3月曜 夜7時半～9時頃
坐禅15分、練習60分、問い合わせ：坂井陵童 ☎554-3273
- 女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 ——活動中です——
- 宗禅寺禅センターをお使い下さい。